



ペットとの共生と防災対策について

池森 のり子 議員



ペットとの共生について

質問 飼い犬の管理などほどの部署で担当しているのか伺います。

答弁 地球環境課が群馬県獣医師会と連携を図りながら、その事務と周知啓発活動を行っています。

質問 本市で登録されている飼い犬の狂犬病予防注射

の接種状況を伺います。

答弁 本市の接種率は、令和4年度が60・5%で、全国平均の70・9%と比べ高いとは言えない状況です。

質問 ペットへの防災意識を高めるために、飼い主向け災害セミナーを開催する考えはありますか。

答弁 防災部署や県獣医師

会と連携を図りながら検討してまいります。

防災対策について

質問 災害時に必要となる物資の備蓄状況を伺います。

答弁 現在、非常食が14万食分、飲料水はペットボトルで備蓄するなど、計画的な備蓄に努めています。

質問 本市では避難所訓練を行っていますか。

答弁 地域の方を対象にした避難所訓練は、これまで3回の実績があります。

質問 ペットとの同行避難

改善に努めます。

要望 検証委員会については、戦略会議の進め方、資料の提出の仕方、委員の選考について、再度検討していくべきで、PDCAが

しっかり働く体制作りをお願いします。

質問 結婚に対しては、若者の将来に対する不安を取り除くことが重要ですが、経済的な問題として、非正規雇用が増大していることが

あります。市内の状況をどう捉えているのか、伺い

ができる体制整備の進捗状況を伺います。

答弁 市の避難情報発令判断・伝達マニュアル等の見直しを進めています。

要望 同行避難に関する取組をさらに進めていただけるよう要望します。

質問 ペット用の避難所を作る考えはありますか。

答弁 動物に係る関係機関や周辺自治体と連携しながら、先進事例等の情報収集並びに調査・研究をしていきたいと考えています。

ます。

答弁 15歳以上の非正規雇用、派遣、パート等の割合は約36%となっています。

質問 この数字をしっかりと把握しながら、事業者だけでなく、被雇用者の補助にも力を入れるよう希望します。また、単身高齢者が

増加していますが、状況を伺います。

答弁 令和2年において、3616世帯で、一般世帯に対する割合は11・5%となっています。

意見等 本市がモデル地区になることで、地域の価値や住民満足度の向上につながると思います。近隣自治体からも受入れられるよう整備し、互いに助け合うことも必要と考えます。



要望 単身高齢者の問題として、孤独死や犯罪に巻き込まれやすい等、色々な問題が発生しています。また、令和6年度より、国民

健康保険、介護保険、後期高齢者保険も増額が見える中、特に国民年金の方が暮らしに支障をきたす恐れが大いに見受けられます。国の方針に関わらず、市民が明るく、心配なく暮らしていける責務を心がけた市政運営、全世代型社会保障の充実を要望します。



少子高齢化社会の今後について

斉藤 貢一 議員



えです。

質問 総合戦略基本目標3の結婚、出産、子育てについて、7指標あるが、執行率が14・3%となっていることについて、どのように考えているのか伺います。

答弁 子育て支援等、人口減少対策に係る取組のさらなる推進が必要と考え、今後、多くの予算を投じる考

質問 検証委員会についても、以前から指摘していたように追認機関で、事業の見直しや改善につながっていないと感じるが、今後について伺います。

答弁 県外自治体の視察を積極的に行い、情報収集に努めながら、今後も事業の